（　石井　通春　議員　３－１）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 令和　５年１１月１３日　　８時３０分受理 | | 受付順位 | ２ |
| 発言順位 |  |
| **発　　言　　通　　告　　書**  　　藤枝市議会議長　　山根　一様  　　　　　　　　　　　　　　　　藤枝市議会議員　　　９番　石井通春  　　次のとおり通知します。 | | | |
| 発言の種類 | 代表質問　　　一般質問　　　緊急質問 | | |
| １：標　題 | 基準値超のヒ素とセレンが検出  道の駅かりやど建設中断を  　　　　　　　　　　　答弁を求める者（　市　長　） | | |
| 10月25日、仮宿クリーンセンター対策委員会に対し、国交省静岡国道事務所が要対策土埋立地から基準値を超えるヒ素とセレンが公共用水域に漏出する事故が発生したと驚きの報告を行った。  具体的には、埋立地西北側に設けられている沈砂池に流入した雨水等から、8月8日に採水による水質検査で、基準値の20倍ものセレンが検出され、どこから漏出したのかを特定するため、地表水と排水層からの排水、要対策度からの排水それぞれの検査を9月6日に実施した所、環境基準値の1.4倍のヒ素、24倍のセレンが検出されたという。広い、大きなシートを何枚も使って要対策土を覆っていたが、隙間等から雨水が侵入した事が原因であるという。  この時期、まとまった降雨があり、その間、ヒ素やセレンが公共用水域に放出されたという重大な事故である。  しかも、国土交通省から市に報告があったのは、事故から一か月以上経過した10月16日である。  「ベントナイト混合土」で包み込むから大丈夫だという、国の言うがまま市も答弁を繰り返してきたが、その前提が崩れた。  排水量も不明、9月下旬から処分場に運んでいるとしているが、その水量や処分場の所在等も一切不明、このような状況下で、造成工事を進めていく事は許されるものではない。工事は継続すべきではない。一旦中断し、中止を含めて検討をすべきではないか。 | | | |

（※　内容は詳細に記入してください。）